



KAKEHASHI プロジェクト（招へいプログラム） （対象国：カナダ、大学生第2陣）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、カナダより大学生 42 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 2 月 14 日から 2 月 20 日までの 6 泊 7 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

カナダ 42 名

3. 訪問地

東京都(全員)、北海道(グループ A:21 名)、宮城県(グループ B:21 名)

4. 日程

2 月 14 日（日） 成田国際空港より入国

2 月 15 日（月） 来日オリエンテーション、日本の外交政策に関する講義（外務省
北米局）、復興庁訪問

1. グループ A：北海道へ移動

2. グループ B：【学校交流】政策研究大学院大学

2 月 16 日（火）～2 月 19 日（金）AM

2 つのグループに分かれ、各地方を訪問

1. グループ A：北海道

【視察】北海道大学アイヌ・先住民研究センター、北海道博物館、石狩パールライス工場
国連大学・皇居・トヨタメガウェーブ(都内にて)

【学校交流】北海道大学国際広報メディア観光学院

2. グループ B：宮城県

【復興視察】メイプル館、語り部とともに被災地視察

【視察】東京都庁、国連大学(都内にて)、【企業訪問】東京メトロ社(都内にて)

【表敬】名取市、宮城県庁

【文化体験】草木染体験、【ホームステイ】

2 月 19 日（金）PM 【歴史文化視察】江戸東京博物館

報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

2 月 20 日（土） 【歴史文化視察】明治神宮・原宿、浅草寺

羽田国際空港(グループ A)/成田国際空港(グループ B)より出国

5. プログラム記録写真



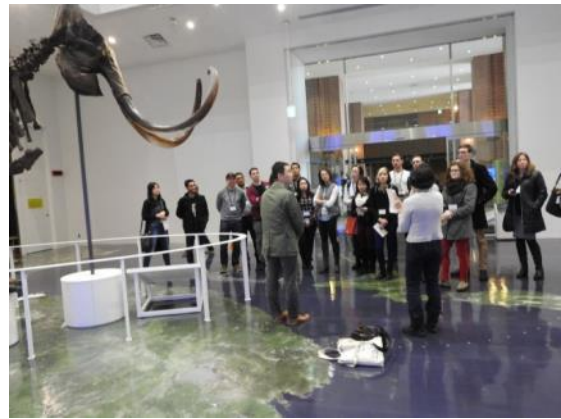
2/15 【学校交流】政策研究大学院大学
(GRIPS) (東京都 港区)



2月17日 宮城県庁表敬訪問(宮城県
仙台市)



2月17日 石狩パールライス工場視察(北
海道 石狩市)



2月17日 北海道博物館(北海道 札幌市)



2月17日 ホームステイ歓送会(宮城県
名取市)



2/18【訪問】国際連合大学(東京都 渋谷区)



2月19日 成果報告会（東京都）



2月20日 明治神宮（東京都）

6. 訪日団の感想

◆ カナダ 大学生

私は、このプログラム自体に感動しました。詳細まで検討されており、学生のグループに惜しみなく経験をさせてくれました。最初から最後まで大変よく企画され、実施されたプログラムだと思いました。日本については、日本の持続可能性へのアプローチ、特に都市のためのイニシアティブについてさらに研究したいと啓発されました。日本の都市の清潔さは群を抜いており、日本が成し遂げた偉業に感動しました。

最後に、このプログラムで会ったすべての日本人の方から感じとった暖かさとおもてなしの心に印象づけられたことをお伝えします。

◆ カナダ 大学生

私は日本の持続可能性と生産性、日本の文化に感動したことをできる限り同胞と分かち合いたいと思います。日本に滞在中、様々な生活様式の違いに気付きました。たとえば、環境に配慮した日本の住宅（アパート）に対し、カナダではごく普通の大きな家。カナダでは、国土に占める住宅地の割合が少ないため、高い生活水準を保つことが可能なことを伝えたいと思います。さらに、日本の交通インフラの驚くべき生産性/効率性（特に高速輸送）の高さについての情報を共有したいと思います。

最後に私は、日本の外交政策に関する問題に関心をもち、どのように同僚に伝えるか考えています。たとえば、日本が自国の経済問題を解決しながらも、他国の経済発展にも貢献し続けていることです。これは、カナダが日本から学ぶべき事だと思います。

◆ カナダ 大学生

今回の滞在では宮城県でのプログラムがもっとも豊かな体験でした。地元の被災者の方から復興状況を直接学んだり、日本のおもてなしを経験したり、ホストファミリーと人々との関係を築いて文化交流をしたり、今も活躍されている数少ない熟練職人の方から伝統的な草木染めを実際に教わったりという体験です。私はお会いした日本の方々がとてもオープンにご自分のつらい体験や学びを共有してくださったり、ご自分の家や職人技を私たちに惜しげもなく開いて見せてくださったことに感動しました。今回のプログラムのうち宮城での滞在はもっともかけがえのない、学びのある時間でした。宮城での体験を友人、家族にこの先もずっと語り続けたいと思います。

7. 参加者の帰国後の発信内容（日本での気づき・帰国後の発信計画）

Action Plan Steps to implement the knowledge sharing of the Kakehashi Project with Canada Step 1: Networking Step 2: Lunch & Learn Step 3: Academia Introduction Pre-Japan Japan Action Plan Kakehashi Project UBC University of Victoria	Action Plan: Networking Build a Canadian network with global reach of Kakehashi Participants from different years and cohorts to create robust linkages and understandings of Japan <
--	---